



慶進中学校・高等学校
進路部
令和5年11月1日発行

共通テストまで残り75日です。3年生は、クラスの雰囲気も受験色が非常に強まってくる頃です。もしかすると、不安や焦りからくるプレッシャーで苦しんでいる人がいるかもしれません。でも「受験は団体戦」という言葉がある通り、第1志望大学合格という同じ目標を持つ多くの仲間がいることを忘れずに。もちろん、保護者の方や慶進の先生も応援しています。自信を持って、勉強をがんばってください。また、そろそろ併願校受験を含めた受験計画を設定する時期になりました。「併願プランの原則」という記事を掲載していますので、参考にしてください。2年生は、11月になり、部活動や校外活動などで忙しい人も多いかと思いますが、毎日の学習はきちんとできているでしょうか。高校生活も後半戦を迎え、いよいよ皆さんも「受験生」に変わる時期です。今の時期から志望校合格という目標を設定し、受験を意識した学習に取り組んでいきましょう。1年生は、文理選択の調査が目前に迫ってきました。職業や学問の探究をした上で、入試科目を調べたり、先生や保護者とも相談したりして、納得のいく文理選択を行いましょ。

●大学入試トピックス

① 2024年度共通テスト志願者数速報値

(河合塾大学入試情報サイト「Kei-Net」の記事から抜粋)

大学入学共通テスト(以下、共テ)の出願は 10月5日が最終日であった。大学入試センターから発表された出願締切最終日17時現在の出願総数は465,469人で、前年同日時点と比較すると13,879人減少(前年同日比:97%)した。出願者の内訳をみると、高等学校等卒業見込者(現役生)が403,718人(前年同日比:97%)で、現役志願率(共テ現役出願者数/高等学校等新規卒業者数)は45%前後になると見込まれる。高等学校等卒業者等(既卒生等)の出願者は61,751人(前年比:97%)となり、過去3年と比べると、減少率が抑えられた形だ。今夏発表された2023年度の私立大学全体の入学定員充足率は100%を割った。このような環境で既卒生の減少率が緩やかになったことは、浪人してでも志望校を変えない受験生が一定数存在することを示す。

② 2024年度国公立大入試「選抜要項」分析

(旺文社教育情報センターの記事を基に作成)

国公立大学の募集人員は増加傾向で、2024年は2012年と比べて、約4800人増加した。その要因として、公立大の大学・学部増(2012年以降に20大学新設)に加えて、国立大でも地方創生や高度情報専門人材の確保を目的として定員が増加したことがあげられる。募集のメインは変わらず一般選抜であるものの、その募集人員が全体に占める割合は低下しており、2024年は76.7%になった。かわって「総合型・推薦型」選抜が拡大し、2015年以降、10年連続で募集人員が増加し、全体に占める募集人員の割合も、2024年入試では23.0%となり、過去最高となった。特に国立大の総合型の募集人員増(+3,756人)が顕著である。「総合型・推薦型」では、まだ、全般的には共テ免除での実施が多いが、国立大の推薦型では、共テを課すほうが多い。

●小論文と面接の直前対策(総合型・学校推薦型選抜)

(「大学受験バスナビ」旺文社」の記事を基に作成)

① 小論文の直前対策

小論文は添削に足を運んだ数だけ力になる

小論文を書く上で大切なことは、①課題文を読み取る力をつけること、②志望する分野に関する知識を深めること、③繰り返し添削指導を受けることの3つです。これらの対策を進める中で、要約する力、自己の考えに具体性を持たせる知識、説得力のある論述や適切な文章表現が身につくはず。後は、志望する分野に関する記事や資料を整理し、入試直前まで使えるファイルを仕上げましょう。その時自分ならどう問題をとらえるか、自問しながら整理すると今までの復習になります。知識を深めるには、1つのテーマを複数の視点から記述している対論型の本を参照するのがオススメです。

不安な人は、直前まで先生に添削指導をしてもらいましょう。小論文の添削指導では、文章のつながりや表現、設問に沿った論理展開、根拠や具体例に説得力を持たせる方法など、多くの改善するポイントを先生に指摘してもらえます。何度も添削指導を受けることで、合格水準に達する小論文に改善していきましょう。また、論述や表現などのスキルだけでなく、指導の合間に話してくれる話題が緊張を解き、思考の幅を広げてくれます。

② 面接の直前対策

面接の流れを意識しつつ志望の熱意を伝えよう

面接には個人面接、集団面接、集団討論があります。共通していることは、明確な目標を持ち、入学後に大学で力を発揮できる受験生を大学が求めていることです。そのため、面接で大切なのは次の3つです。1つ目は、志望の熱意を伝えること。自分の経験に基づく志望理由や、目的を表現するために最適な環境であることを具体的に伝えます。2つ目は、面接の流れを捉えることです。個人面接では、面接官の質問の意図を外さないよう注意しましょう。集団討論では、全体の流れの中で自分の意見だけでなく、相手の意見を聞き入れながら結論を導き出す協調性が求められています。3つ目は、模擬面接を繰り返すことです。予想される質問は、質疑応答用のファイルに整理して学校の先生の添削指導を受け、ブラッシュアップさせましょう。面接練習を動画で撮影すると、態度や表情の確認ができます。自信が持てれば、集団面接でも周囲の緊張感に負けません。

●先輩の合格体験記 先輩の体験記の一部抜粋を掲載しています

<p>山口大学医学部医学科 (中高一貫コース卒業)</p> <p>【後輩へのメッセージ】 受験日はあつと言う間にやってきます。自分がやるべきことを明確にして、一日一日を大切にしましょう。また、勉強のルーティーンを定めると、効率良く取り組めます。受験は一発勝負なので、本番で出来なければ水の泡になります。受験で最高のパフォーマンスができるように、普段から勉強や模試に対して全力で臨み、受験の重圧の中でも発揮できる真の実力をつけてください。</p> <p>【こうしておけば良かったことは】 物理の勉強に取り掛かるのが遅く、電磁気の理解が足りないまま受験に臨んでしまいました。また、英語の小論文は、医療系の英単語の習熟度で差がつくので、もっとやっておくべきでした。</p>	<p>山口大学教育学部小学校総合 (アドバンスコース卒業)</p> <p>【後輩へのメッセージ】 自分は7月終わりまで部活動をしていたので、他の受験生より期間が短い中で頑張りました。山大教育学部では、第2志望まで書くことができたので、二次対策も気を抜かずやりました。正直な所、何回も受験をやめたくなったけど、クラスの仲間と励ましあって勉強しました。いつ始めるかは自分次第ですが、早めに始めたら楽になることを覚えていてください。受験生の皆さん、頑張ってください。</p> <p>【共通テスト(センター試験)前の心境は】 二次試験よりも配点が高かったので、1週間前からプレッシャーがすごかったです。でも、緊張しているのはみんな同じなので、気負いすぎず頑張ってください。</p>	<p>山口県立大学国際文化学部 (グローバルコース卒業)</p> <p>【後輩へのメッセージ】 受験勉強は、毎日自分自身の成長を感じられるほど努力するものです。「今日はこれができるようになった」を何回も繰り返すことが、大学合格への道です。絶対に嫌なことにぶつかると、時には逃げたくなることもあります。でも、そんな時こそ言い訳で自分を正当化するのではなく、逃げて何にもならないという現実を受け止め、最後まで走りきることが大切です。でも一人では無理です。支えてくれる人達の手を全部掴ませてもらうことで、乗り越えられます。だから、友達や先生に弱音を吐きながらも、現実としっかり向き合って、最後まで諦めずに毎日成長する努力をしてください。</p>
--	---	--

●併願プランの原則

(『蛭雪時代2021年11月号』旺文社)の記事を基に作成)

第1志望校と併願校を絞り込み、効果的な併願プランで、第1希望合格をつかみましょう。

原則1 受験全体の軸となる第1志望校を明確にする

原則2 入学する意思のある大学を併願し、無理な高難度受験を避ける

大学の情報を集めて、「行きたい併願校」を探そう。また、本命以外の無謀な挑戦は控えたい

原則3 第1志望校の受験&対策に集中できる状況をつくる

併願校の受験科目や受験スケジュールに注意。本命校の試験に万全の学力を臨めるようにしよう

原則4 併願で手ごたえ・自信を得て、受かるノリをつくる

原則5 併願のメリットを最大化し、デメリットを最小化する

メリット ①一発勝負の不安を軽減し、落ち着いて受験に臨める ②試験本番に慣れることで、実力を発揮しやすくなる ③高いハードルの大学にも臆せずに挑戦できる
デメリット①併願校の数が増えると、試験対策の手間も増える ②併願校でも落ちると凹む、受かると気が緩む ③受験が続くと疲労が蓄積し、次の試験に悪影響を与える

●2025年新課程入試 変更点のポイント

2年生が受験する2025年入試から新課程になります。1・2年生は変更点を再確認しましょう。

●新課程入試 共通テストの主な変更点 ※詳細は「掴め未来を!」5月号で紹介しています

地歴公民	「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」「公共、倫理」「公共、政治経済」「地理総合/歴史総合/公共」の計6科目に再編される。 ※2科目を選択して受験する場合、同時に選択できない組み合わせが存在するので、注意が必要。
数学	数学Ⅱ・Bが数学Ⅱ・B・Cとなり、試験時間は10分延長され、70分に。
国語	近代以降の文章に大問が追加され、大問数は計5題となり、試験時間は10分延長され、90分に。
情報	新科目として情報Ⅰが新設される。試作問題によると、大問数は4題。試験時間は60分。

●「医進プロジェクト」活動報告

慶進高校では、医師となり社会に貢献したいという生徒たちの夢を実現するために、「医進プロジェクト」を立ち上げ、長期的な計画のもとで様々なサポートをしています。医療現場に出かけ、見学や体験、交流を通して強い意志を養うとともに、小論文・面接の個人指導などのきめ細かい受験対策を行っています。

- 主な活動
- 大学教員による出前講義
 - 医学部医学科合格者との茶話会
 - 病院見学と現場の方々との交流
 - 医療系小論文講座
 - 小論文・面接指導 など



(本校教員による「山大医学科地域枠推薦分析会」の様子)

●共通テスト模試

受験のすすめ

第3回進路模試が終わると、3年生の校内模試はもうありません。これから、各予備校が実施する「共通テスト直前模試」に申し込んでみましょう。共通テストの点数を飛躍的に伸ばすために、色々な予想問題に当たっておくことは大事です。また、外部の試験会場の独特の雰囲気は、校内模試では経験できないものであり、外部受験の経験のない人は是非一度経験しておきましょう。特に、北予備の「共通テストファイナル」は、毎年、大半の3年生が受験します。



11月スケジュール

- 1日(水)・2日(木) ベネッセ総合学力テスト(ⅠⅡ)
- 5日(日) 実用英語技能検定二次試験
- 7日(火) 高大連携行事(ⅠG)
- 17日(金) アドバンスコーザ(ⅠⅡA)
- 20日(月) 期末試験日割発表
- 27日(月)~12月1日(金) 期末試験